

ガラテヤ 15回
「罪に打ち勝つ秘訣は何か」
ガラ 5:16~21

1. はじめに

(1) ガラテヤ人への手紙の位置づけ

- ①ガラテヤ地方の諸教会は、律法主義者の教えの影響を受けた。
- ②パウロは、律法主義者の教えに反論する必要を感じ、この書簡を書いた。

(2) ガラテヤ人への手紙のアウトライン

- ①個人的弁明：パウロの使徒職（1：1～2：21）
- ②教理的教え：信仰義認（3：1～4：31）
- ③実践的教え：キリスト者の自由（5：1～6：18）

(3) 文脈の確認

①5章の内容

- * 律法主義の弊害（1～6節）
- * 自由の使い方（7～15節）
- * 罪に対する勝利（16～21節）
- * 御霊の実（22～26節）

- ②今回は、罪に対する勝利（16～21節）を取り上げる。

2. メッセージのアウトライン

- (1) 2つの性質（16～18節）
- (2) 肉のわざ（19～21節）

3. 結論：クリスチャン生活のチェックポイント

罪に対する勝利について学ぶ。

I. 2つの性質（16～18節）

1. 16節

Gal 5:16 私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満たすことは決してありません。

- (1) ガラ 5:15 の再確認

Gal 5:15 気をつけなさい。互いに、かみつき合ったり、食い合ったりしているなら、互いの間で滅ぼされてしまいます。

①信者同士の争いを解決する唯一の方法は、御霊による歩みである。

(2) 「私は言います」

①パウロは、使徒の権威を用いて、ガラテヤ人たちに命令している。

②これは、神が命令しているのと同じである。

(3) 「歩みなさい」

①ギリシア語の「ペリパテオウ」という動詞が用いられている。

②この動詞は、現在形の命令法になっている。

③意識すると、「御霊によって歩み続けなさい」となる。

④「御霊により頼む習慣を身に付けなさい」という訳も可能である。

⑤「歩む」とは「習慣的行動」を示す比喩的言葉である。

⑥習慣が身につくためには、時間がかかる。

(ILL) 模様替えをした後、それに馴染むのに時間がかかる。

(4) 「御霊によって」

①信者には、内住の聖霊が与えられている。

②しかし、聖霊が自動的に働きを開始するわけではない。

③信者が依り頼むまでは、聖霊は働きを開始しない。

④それゆえ、静まって聖霊の導きを求める必要がある。

⑤聖霊とのコミュニケーションラインを常に維持することを心がける。

(ILL) 調子の悪い掃除機

(5) 「そうすれば、肉の欲望を満たすことは決してありません」

①信者になってからも、罪の性質は内に宿っている。

②しかし、信者は肉の性質に従う必要はない。

③「肉の欲望を満たす」とは、単に肉欲を満たすことではない。

*これは、罪の性質を満足させることである。

④聖霊の導きにより頼む人は、罪の性質を外側の行為に出すことがなくなる。

⑤なぜなら、聖霊の支配と肉の性質の支配が並存することはないからである。

⑥ギリシア語では、「ウー メイ」という二重否定となっている。

*強意の否定なので、「決してありません」という訳は正確である。

Gal 5:17 肉が望むことは御霊に逆らい、御霊が望むことは肉に逆らうからです。この二つは互いに対立しているので、あなたがたは願っていることができなくなります。

(1) 信者には、相対立する2つの性質がある。

①ひとつは、両親を経由して受け継いだアダムの性質である。

*「肉」は、古い性質の擬人法である。

②もうひとつは、イエス・キリストを信じて新生した時に受けた新しい性質。

*これは、神の性質とも言われる(2ペテ1:4)。

2Pe 1:4 その栄光と栄誉を通して、尊く大いなる約束が私たちに与えられています。それは、その約束によってあなたがたが、欲望がもたらすこの世の腐敗を免れ、神のご性質にあずかる者となるためです。

(2) 2つの性質には、それぞれ欲するものがある。

①古い性質は、悪を追求する。

*古い性質とは、言い換えれば、罪に仕える能力のことである。

②新しい性質は、聖なるものを追求する。

*新しい性質とは、言い換えれば、神と義に仕える能力のことである。

③この2つの性質は、常に対立し、相容れないものである。

④なぜ神は、新生した時に古い性質を取り除かれないのか。

*それは、信者に霊的教訓を学ばせるためである。

*自分が常に聖霊により頼む必要のある存在であることを学ぶため。

*イエス・キリストを通して父なる神をほめたたえることを学ぶため。

*古い性質の最終的な処理は、栄化の時に行われる。

⑤信者の魂の所有権を巡って、キリストと悪魔が争っている。

(3) 「この二つは互いに対立しているので、あなたがたは願っていることができなくなります」

①ガラ5:17(新共同訳)

Gal 5:17 肉の望むところは、霊に反し、霊の望むところは、肉に反するからです。肉と霊とが対立し合っているのです、あなたがたは、自分のしたいと思うことができないのです。

②善を行おうとしても、それができない。

③それができるようになるためには、聖霊により頼まなければならない。

3. 18節

Gal 5:18 御霊によって導かれているなら、あなたがたは律法の下にはいません。

(1) 2つの力(聖霊の導きと肉の欲望)のどちらが勝つかで、結果が違ってくる。

①聖霊の導きが勝つなら、その人は自由人であり、律法の下にはいない。

- ②「律法の下にはいない」＝「肉の欲求に支配されていない」
*律法主義に惹かれていくのは、肉の欲求が原因である。
- ③聖化は、聖霊の働きによって進展する。

(2) これ以降、「肉のわざ」と「御霊の実」の対比が行われる。

- ①肉のわざ (19～21 節)
- ②御霊の実 (22～26 節)

II. 肉のわざ (19～21 節)

1. 19 節 a

Gal 5:19a 肉のわざは明らかです。

(1) 「肉のわざは明らかです」

- ①肉のわざとは、内にある肉の性質が行為となって現れたものである。
- ②ここでは、15 種類の肉のわざがリストアップされている。

2. 19b～21 節 a

Gal 5:19b すなわち、淫らな行い、汚れ、好色、

Gal 5:20 偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、

Gal 5:21a ねたみ、泥酔、遊興、そういった類のものです。

(1) このリストは、4つに区分して考えると分かりやすい。

- ①性的罪
- ②宗教的罪
- ③社会的罪
- ④飲酒に関する罪

(2) 性的罪 (3つ)

①淫らな行い

- *ギリシア語で「ポルネイア」、英語で「fornication」。
- *ポルノグラフィーの語源
- *不適切な性的関係の総称

②汚れ

- *ギリシア語で「アカサーシア」、英語で「impurity」。
- *思索、言葉、行いにおける道徳的汚れの総称

③好色

- *ギリシア語で「アセルゲイア」、英語で「debauchery」。

*外に現れた恥知らずの罪。放蕩。

(3) 宗教的罪 (2つ)

④偶像礼拝

*偶像を神として、その前にひれ伏す行為

*性的罪と深い関係がある。

⑤魔術

*ギリシア語で「ファーマケイア」、英語で「witchcraft」。

*「ファーマシー」の語源。薬局、薬学。

*酩酊状態を作り出すために、ドラッグが使用された。

*患難期には、魔術が広がる(黙9:21、18:23)。

(4) 社会的罪 (8つ)

⑥敵意

⑦争い

⑧そねみ

⑨憤り

⑩党派心

⑪分裂

⑫分派

⑬ねたみ

(5) 飲酒に関する罪 (2つ)

⑭泥酔

⑮遊興

(6) 「そういった類のものです」

①このリストは、例示的なものであることを示している。

3. 21節b

Gal 5:21b 以前にも言ったように、今もあなたがたにあらかじめ言っておきます。このようなことをしている者たちは神の国を相続できません。

(1) パウロは、ガラテヤ人たちの所にいた時に、このことを明確に教えていた。

①このような罪のレベルに留まり続けている者は、神の国を相続できない。

②これは、信者でも救いを失う可能性があるという意味ではない。

③習慣的に罪の中を歩んでいるのは、まだ神の子になっていない証拠である。

④パウロの警告は、自分が救われているかどうかの自己吟味を迫る。

結論：クリスチャン生活のチェックポイント

(ILL) フォローアップの重要性 (鮭を獲って帰る熊の話)

1. 自分の内に2つの性質が宿っているだろうか。

- (1) 内的葛藤を感じないなら、新しい性質が宿っていない可能性がある。
- (2) 新生していないなら、聖霊の内住はない。
- (3) そういう人は、福音に耳を傾け、恵みと信仰によって救われる必要がある。

2. 聖霊とのコミュニケーションラインを保っているだろうか。

- (1) 日々のデボーションを通して、聖霊の声を聞く必要がある。
- (2) 瞬間瞬間、聖霊とのつながりを維持する必要がある。

3. 聖霊により頼み、聖霊に道を譲っているだろうか。

- (1) 聖霊を利用するのではなく、聖霊に主導権を明け渡す必要がある。
- (2) その結果、聖い選択をすることができるようになる。

4. キリストの栄光が表われることを心から願っているだろうか。

- (1) 聖霊の働きのゴールは、キリストの栄光を表わすことである。
- (2) ピリ 1:20

Php 1:20 私の願いは、どんな場合にも恥じることなく、今もいつものように大胆に語り、生きるにしても死ぬにしても、私の身によってキリストがあがめられることです。

(3) 2テサ 1:12

2Th 1:12 それは、私たちの神であり主であるイエス・キリストの恵みによって、私たちの主イエスの名があなたがたの間であがめられ、あなたがたも主にあって栄光を受けるためです。

(4) 黙 5:8~10

Rev 5:8 巻物を受け取ったとき、四つの生き物と二十四人の長老たちは子羊の前にひれ伏した。彼らはそれぞれ、豎琴と、香に満ちた金の鉢を持っていた。香は聖徒たちの祈りであった。

Rev 5:9 彼らは新しい歌を歌った。／「あなたは、巻物を受け取り、／封印を解くのにふさわしい方です。／あなたは屠られて、／すべての部族、言語、民族、国民の中から、／あなたの血によって人々を神のために贖い、

Rev 5:10 私たちの神のために、彼らを王国とし、／祭司とされました。／彼らは地を治めるのです。」